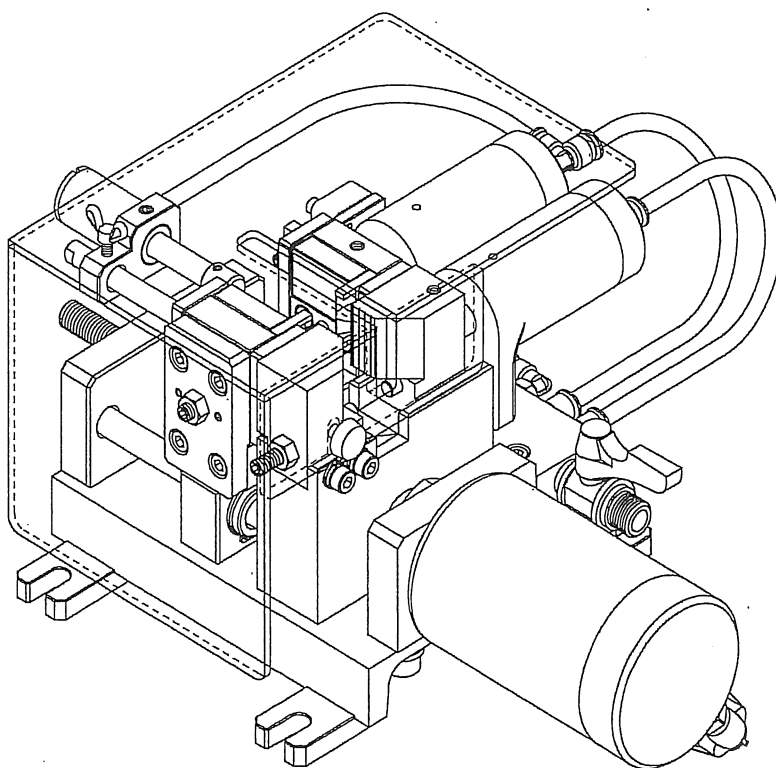


卓上ストリッパ

CST35

取扱説明書



室本鉄工株式会社

卓上ストリッパー取扱説明書 -Original Instructions-

(Instruction Manual of CABLE STRIPPER)

この度は本機をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
安全にご使用頂くため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」
をお読みになられた上で正しくお使い下さい。

- ・怪我などの事故を未然に防ぐため、以下に示します「安全上のご注意」を必ずお守り下さい。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」を全て熟読された上で、指示に従って正しくお使い下さい。
- ・本書はお読みになられた後、ご使用になる方がいつでも見られる場所に正しく保管して下さい。

安全上のご注意



<作業前>

- (1) エアーコンプレッサー以外の動力源は使用しないで下さい。
 - ・圧縮空気以外の高圧ガス（酸素、アセチレン、プロパン等）を使用されますと、爆発する恐れがあります。
 - ・大変な事故の原因となる為、絶対にご使用にならないで下さい。
- (2) 必ず、使用用途にあった作業を行ってください。
 - ・本機は、電線の外皮剥離を目的とした卓上型作業工具です。
 - ・指定された用途以外の作業は、行なわないで下さい。
 - ・本機的能力以上の作業は、本体や替刃の破損を引き起こす原因となり、破損部の破片等が飛散し怪我などの事故を引き起こす恐れがあります。安全のため、絶対にしないで下さい。
- (3) 作業者以外の方を近づけさせないで下さい。
 - ・作業者以外の方に、フットバルブを触れさせないで下さい。怪我の原因となります。
 - ・作業者以外の方を、作業場に近づけさせないで下さい。怪我の原因となります。
 - ・小さなお子様に、本機とフットバルブを触らせないで下さい。
 - ・小さなお子様が近くにいた時は、必ず安全な場所まで移動させて十分な安全を確保して下さい。
 - ・小さなお子様に作業をさせないで下さい。
- (4) 作業場は、常に綺麗にして下さい。
 - ・整理整頓の出来ない場所や作業台での作業は事故の原因となります。
 - ・作業場は、必ず十分な明るさを確保して下さい。暗い場所での作業は、怪我や事故の原因となります。
- (5) 作業時には必ず作業に適した安全な服を着用して下さい。
 - ・大きすぎる服や小さすぎて動きにくい服、紐やベルト、布が垂れ下っている服、フリルの付いた服は着用しないで下さい。
- (6) 機体の排気音、排気空気から耳を保護するため防音保護具を着用して下さい。
- (7) 作業環境に応じて、保護メガネ、ヘルメット、安全靴、防塵マスク等の防具を着用して下さい。
- (8) エアーホースを接続する前に、以下の使用前点検を行なって下さい。
 - ・替刃取付部・本体連結部・エアー配管部のネジ類に緩みがない事。
 - ・損傷や磨耗などで変形した部品、又は外れてしまっている部品がない事。
 - ・錆の発生などで正常に動作しない部品がない事。異常があるまま使用されますと、機体の故障や怪我などの事故の原因となります。
異常を発見されましたら、お買い求めの販売店、又は当社 室本鉄工株式会社までご連絡下さい。
- (9) エアーホースを接続する時には、以下の事を注意して下さい。
 - ・フットバルブに（FB70S）に触れない事。
 - ・エアー源は遮断状態の事。
 - ・No.66：バルブ付ニップルが OFF になっている事。
- (10) 替刃を取り付ける前に、エアーホースを接続し次の事を確認して下さい。
 - ・空気漏れや異常音がしていない事。
 - ・替刃に変形・ヒビ・破損がない事。
- (11) 替刃等は、本書 9 ページから 11 ページまでのご使用方法に従って確実に取り付けして下さい。
 - ・確実に取り付けされていないと、外れたりし、怪我の原因となります。
- (12) 指定の付属品を使用して下さい。
 - ・本書に記載されている付属品以外の物を使用しないで下さい。
本機が正常に作動しなかったりし怪我などの事故の原因となる恐れがあります。

(13) 本機はしっかりと固定して使用して下さい。

- ・不安定な状態で使用されますと、事故や怪我の原因となります。

<使用前点検>

※作業に入られる前に以下の事をもう一度確認して下さい。

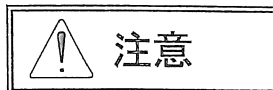
- ・本体及び替刃の外観に汚れ、ヒビ、割れ等が発生していない事を確認して下さい。
- ・本体の各連結部、ネジ・ナット類、本体とエアー供給配管部に緩みやエアー漏れがない事を確認して下さい。
緩みがある状態で使用されますと、本体の破損、怪我などの事故の原因となります。
異常があるまま使用されますと、機体の故障や怪我などの事故の原因となります。
異常を発見されましたら、お買い求めの販売店、又は当社 室本鉄工株式会社までご連絡下さい。

<作業中>

- (1) 指定の空気圧力を使用して下さい。
 - ・本機の使用可能最大空気圧力は 0.6 [MPa] です。
0.6 [MPa] よりも高い空気圧力の使用は、機体の破裂や損傷の恐れがあります。
危険ですので使用しないで下さい。
- (2) 可燃性の液体やガスのある場所では使用しないで下さい。
 - ・可燃性のある液体やガス（シンナー、ガソリン、塗料、ガス等）がある場所で本機を使用しないで下さい。
空気と一緒に吸引圧縮され、爆発や火災等の事故を引き起こす恐れがあります。
本機は爆発性雰囲気での使用目的では設計しておりません。
- (3) 替刃交換時やトラブル発生時以外は、替刃に触れないで下さい。
 - ・本機は非常に強力な切断力を有しております。そのため、替刃に触れたり、替刃周辺に手指を近づけますと大変な大怪我をする危険があります。絶対に近づけないで下さい。
- (4) 以下の場合は、エアーホースを外し圧縮空気を抜いて下さい。
(本機内部に蓄えられた空気が事故などの危険を引き起こす恐れがあります。)
 - ・使用しない場合や作業中断時、及び使用後。
 - ・点検、修理、調整等を行なう時。
 - ・替刃や付属品などの交換を行なう時。
 - ・本機を移動させる時や人に手渡しする時等。
誤作動を引き起こし、怪我などを発生させる原因となります。
- (5) 作業中は周囲の人にも注意して下さい。
- (6) 無理な姿勢での作業はしないで下さい。
 - ・立って作業をされる時には、必ず足元をしっかりとさせバランスを保って下さい。
ふらついた状態などの不安定な状態で作業はしないで下さい。
 - ・座っての作業をされる時も同様に、安定した場所に椅子を設置し、しっかりと腰掛けて下さい。
椅子がグラついた状態などの不安定な状態での作業はしないで下さい。
- (7) 気を緩めずに、十分に注意をして作業を行なって下さい。
 - ・本機を使用する際には、取扱い方法、作業方法、周囲の状況などに十分注意をして慎重に作業を行って下さい。
 - ・体調が優れない時や疲れている時には使用しないで下さい。
- (8) 本機の取扱いは丁寧に扱って下さい。
- (9) 本機は一般的に電力源との接触は想定しておりません。
そのため、絶縁処理は施してはおりませんのでご注意下さい。
- (10) 本機を誤って落としたり、他の物とぶつけた時は機体などに破損や亀裂、変形がない事をよく確認して下さい。
 - ・異常がありますと内部の圧縮空気により破裂などの恐れがあり、大変危険です。
- (11) 本機の使用中に動作不良やその他の異常を感じられましたら、すぐに使用を中止して下さい。
修理のご依頼は、お買い求めの販売店、又は当社 室本鉄工株式会社までお願い致します。

<作業後>

- (1) 作業後は必ず中の圧縮空気を抜き、No.66：バルブ付ニップルを OFF にして下さい。
- (2) 本機やエアーコンプレッサーを直射日光の当る場所に長時間放置しないで下さい。
- (3) 本機は、正しく丁寧に手入れをして下さい。
- (4) 使用しない時は、正しい場所に正しく保管して下さい。
- (5) 部品を外したり、改造をしないで下さい。
- (6) 潤滑剤は推奨した物を使用して下さい。
推奨潤滑剤：Shell Alvania Grease RA-J



注意

安全かつ正しくお使い頂くために、下記の事は遵守して下さい。

- (1) 本機は強力な切断力（圧縮力）を有しております。
その為、作業中にツカミ部、替刃台、刃物台、シリンダー等の駆動部分の周辺に手指を近づけないで下さい。
- (2) 止む無く手を近づけないといけない時は、必ずエアースourceを止め、本機が作動しないようにし、十分な安全を確保した上で行なって下さい。
- (3) 危険なため、№90：安全カバーを取り外しての作業は行なわないで下さい。
- (4) 替刃台、ツカミ部のカス取りや、その他の異物を除去する際には必ずエアードスター等をご使用下さい。
また、安全のためにエアースourceを止め、本機が作動しないようにして下さい。
- (5) ご使用前には必ず各部ボルト、ナットの緩みがないかを確認して下さい。緩みがありましたら、しっかりと締めて下さい。
また、ツカミ部摺動面には注油を行なって下さい。（4ページ外観図参照）
- (6) 本機をご使用にならない時は、エアースourceを止めるか、№66：バルブ付ニップルをOFFにして頂き、必ず本機が作動しない状態にして下さい。
- (7) 替刃や部品の破損、故障の原因になるため、本機の仕様（能力）に沿わない作業は行なわないで下さい。
- (8) 本機を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。部品が歪み、正常に作動しなくなります。
- (9) 本機を移動させる時は、必ずエアースourceからのホースを外し、作動しないようにして下さい。
また、持ち運ぶ際には必ずベース部分を両手でしっかりと持って落とさない様にして下さい。
エアースourceや安全カバー等の不安定な部分は破損の原因となるため、絶対に持たないで下さい。

■ご使用可能なエアースourceについて

- (1) 必ず、フィルターを通し、水分を除去したエアースourceをご使用下さい。
- (2) 十分なエアースourceを供給出来る様に、エアースourceのバルブは全開にして下さい。
- (3) 使用可能最大空気圧は、0.6 [MPa] となっております。
(0.6 [MPa] を超える空気圧の使用による、トラブル、故障に付きましては、一切の責任を負いません。)

■注意事項

- ◎修理のご依頼に関しましては、お買い求めの販売店、又は当社までご連絡下さい。
- ◎不当な分解、改造を施された製品は保証の対象外とさせていただきます。
- ◎不当な分解、改造によるトラブル、故障は一切の責任を負いません。

※本製品には替刃は付属しておりません。別途お買い求め下さい。

※替刃はお客様の使用の用途に応じて製作する事が出来ます。

ただし、用途によってはお客様のご要望にお応え出来ない事がございます。あらかじめ、ご了承下さい。

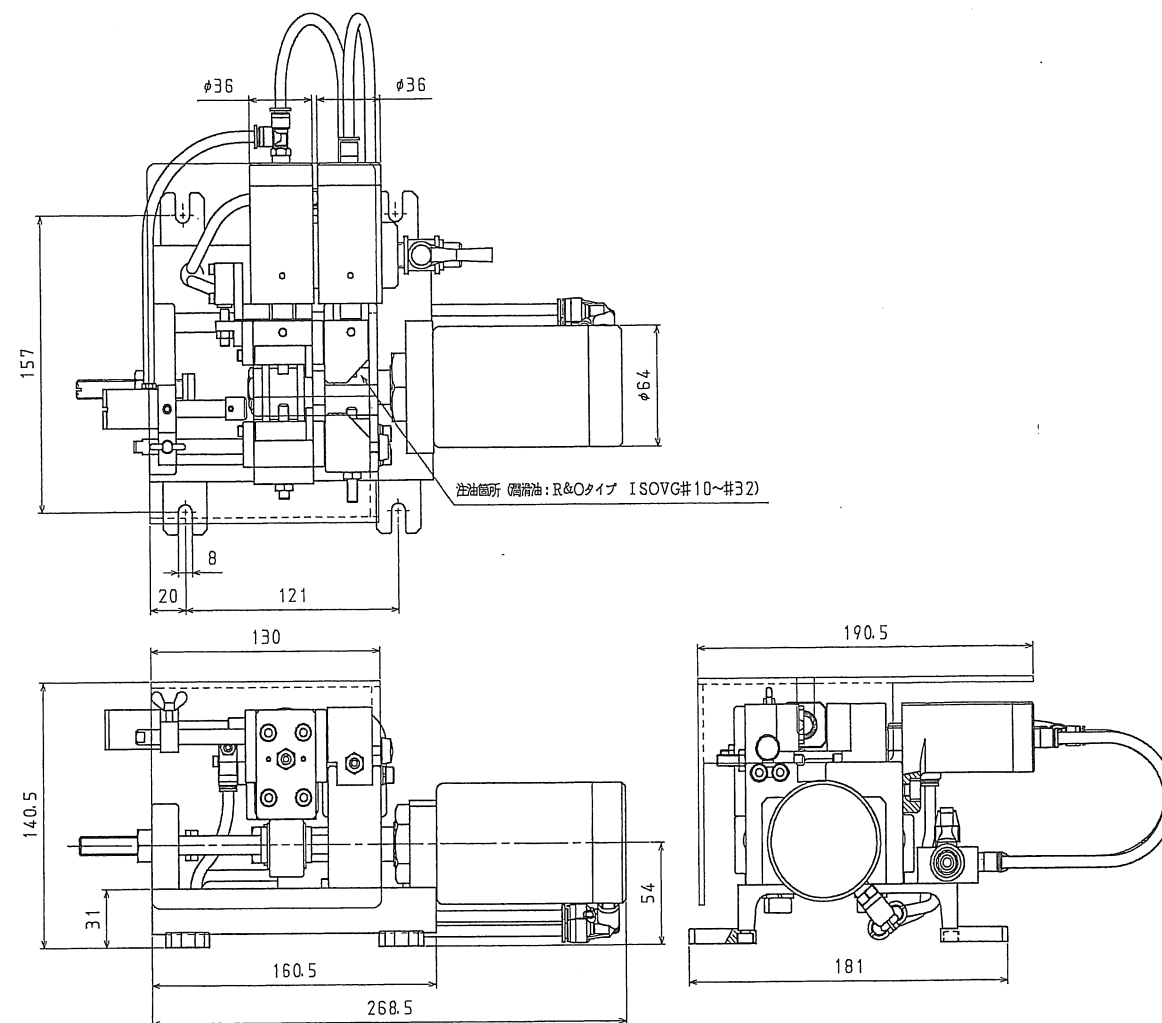
※別作替刃製作時には、電線のサンプルが必要となります。

※本書中のイラストは印刷のため、実物とは異なる事がございます。

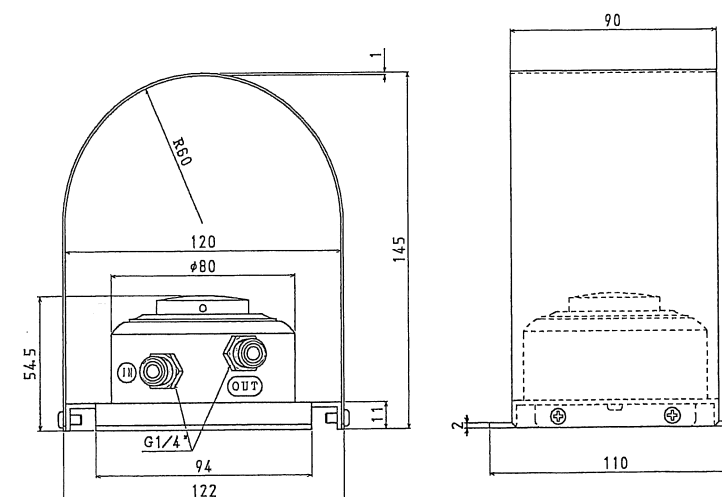
※本機の仕様、及び本書の内容に関しましては、予告なしに変更する事がございます。

あらかじめ、ご了承願います。

外観寸法図

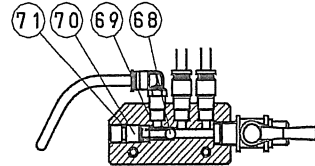
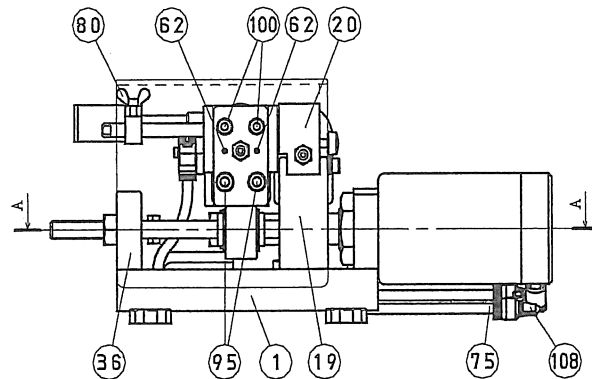
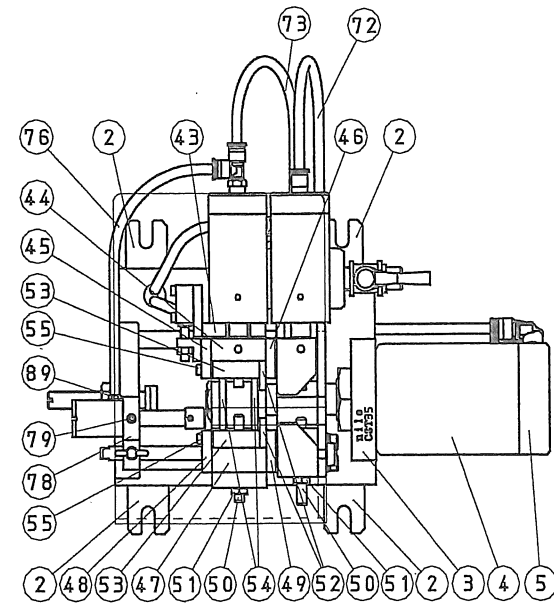


外観寸法図

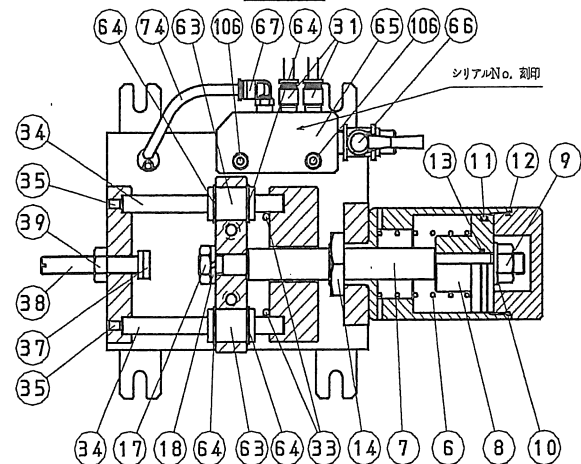


付属品 フットバルブ：FB70S 外観寸法図

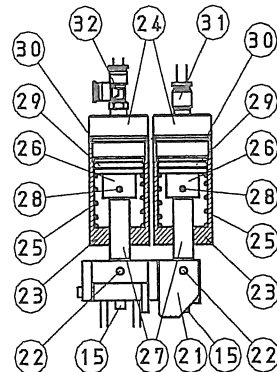
組立図



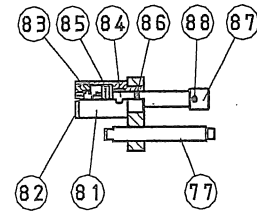
チェック弁断面図



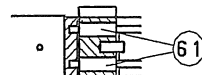
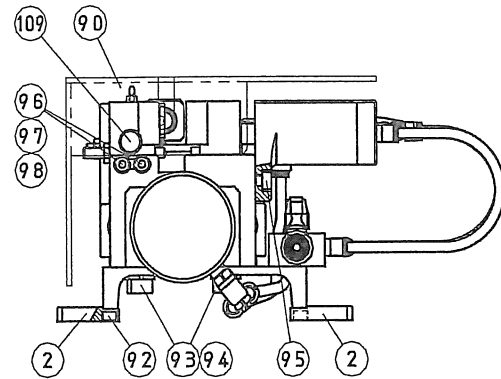
A-A断面



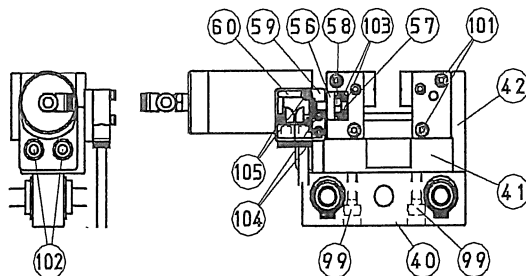
ツカミ部、替刃部シリンダー断面図



アタリシリンダー断面図



駆動側替刃台断面図



替刃部

部品表

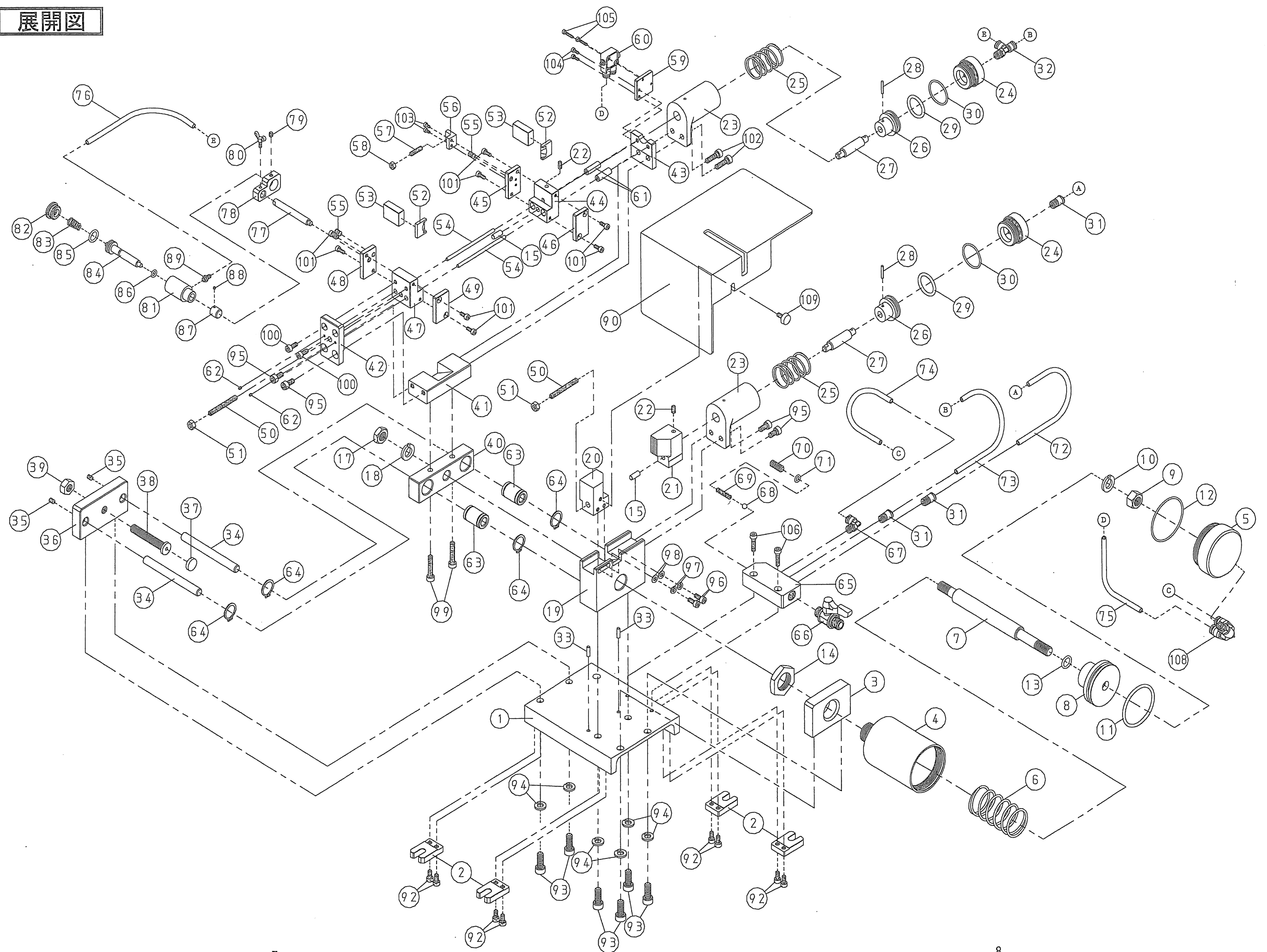
品番	品名	個数
1	ベース	1
2	ベース固定用プレート	4
3	シリンダー支えプレート	1
4	シリンダー1	1
5	キャップ1	1
6	戻しバネ1	1
7	ピストンロッド	1
8	ピストン1	1
9	六角ナット	1
10	スプリングワッシャ	1
11	Oリング	1
12	Oリング	1
13	Oリング	1
14	ナット1	1
15	アタリピン	2
16		
17	六角ナット三種	1
18	スプリングワッシャ	1
19	ツカミ部台	1
20	ツカミ(固定側)	1
21	ツカミ(駆動側)	1
22	セットボルト	2
23	シリンダー2	2
24	キャップ2	2
25	戻しバネ2	2
※26	○ピストン2	2
※27	○ピストンロッド	2
※28	○スプリングピン	2
29	Oリング	2
30	Oリング	2
31	ワンタッチニップル	3
32	ワンタッチニップル	1
33	スプリングピン	2
34	スライドシャフト	2
35	セットボルト	2
36	シャフト受け板	1
※37	●アタリ	1
※38	●ストローク調整ボルト	1
39	六角ナット	1
40	スライドブロック	1
41	替刃部台	1
42	替刃部支え板	1
43	替刃部シャフト受けプレート	1
※44	◎替刃台1	1
45	替刃支え板A	1
46	替刃支え板B	1
47	替刃台2	1
48	替刃支え板C	1
49	替刃支え板D	1
50	ストッパーボルト	2
51	六角ナット	2
52	替刃	別売
53	ブロック	2
54	替刃部スライドシャフト	2
55	セットボルト	2
56	ブラケット	1
57	ボルト	1
58	六角ナット	1
59	メカニカルバルブ取付プレート	1
60	メカニカルバルブ	1

品番	品名	個数
※61	◎リニアブッシュ	2
62	セットボルト	2
63	リニアブッシュ	2
64	C形止め輪	4
65	チェック弁	1
66	バルブ付ニップル	1
67	L型ワンタッチニップル	1
68	ウレタンボール	1
69	ウレタンボール戻しバネ	1
70	チェック弁調整ボルト	1
71	Oリング	1
72	ホース1	1
73	ホース2	1
74	ホース3	1
75	ホース4	1
76	ホース5	1
77	ガイドピン	1
78	アタリシリンダー取付プレート	1
79	セットボルト	1
80	蝶ネジ	1
81	アタリシリンダー	1
82	キャップ	1
83	皿バネ	1
84	アタリシリンダー用ピストンロッド	1
85	Oリング	1
86	Oリング	1
87	線材アタリ	1
88	セットボルト	1
89	ニップル	1
90	安全カバー	1
91		
92	ボルト	8
93	ボルト	6
94	スプリングワッシャ	6
95	ボルト	4
96	ボルト	2
97	スプリングワッシャ	2
98	ワッシャ	2
99	ボルト	2
100	ボルト	2
101	ボルト	8
102	ボルト	2
103	ボルト	2
104	ボルト	2
105	ボルト	2
106	ボルト	2
107		
108	ブランチエルボ	1
109	化粧ネジ	1
110		

◆部品注文時の注意◆

- ・※印の付いた番号の部品(26.27.28.37.38.44.61)は部品単体での販売は致しておりません。
- ・No.26、27、28(名前に○印の付いた)計3点の部品は組付けた状態のセット販売となります。
- ・No.37、38(名前に●印の付いた)計2点の部品は組付けた状態のセット販売となります。
- ・No.44、61×2個(名前に◎印の付いた)計3点の部品は組付けた状態のセット販売となります。

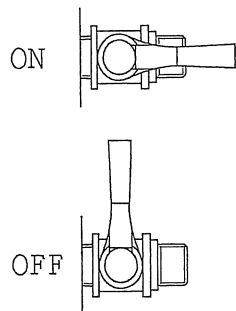
展開図



ご使用方法

■基本操作

- 1) No.66：バルブ付ニップルが OFF になっている事を確認して下さい。(右図参照)
 - 2) No.66：バルブ付ニップルとフットバルブの OUT 側のニップルをホースで接続して下さい。
 - 3) フットバルブの IN 側のニップルにエアー源からのホースを接続して下さい。
 - 4) No.66：バルブ付ニップルを ON にして下さい。(右図参照)
 - 5) 線材を替刃の間に入れ、フットバルブを踏んで下さい。
 - 6) 本機の動作が完了しましたら、フットバルブから足を離して下さい。
 - 7) 本機が動作前の状態に戻りましたら、線材を取り出して下さい。
- 以上で、脱皮作業は完了となります。
- 続けて作業をされる時は、5)、6)、7) の手順を繰り返して下さい。



■脱皮寸法 (図 1 参照) の調整

- ◎安全の為、必ずNo.66：バルブ付ニップルを OFF にして下さい。もしくは、エアー源を止めて下さい。
- 1) No.109：化粧ネジを緩め、No.90：安全カバーを取り外して下さい。
 - 2) No.80：蝶ネジを緩めて下さい。
 - 3) No.78：アタリシリンダー取付プレートごとアタリシリンダーをスライドさせて下さい。
 - 4) 位置が決まりましたら、No.80：蝶ネジを締め付けて下さい。
 - 5) No.90：安全カバーを取付け、No.109：化粧ネジを締めて下さい。

■替刃部のストローク調整方法

- ◎安全の為、必ずNo.66：バルブ付ニップルを OFF にして下さい。もしくは、エアー源を止めて下さい。
- 1) No.39：六角ナットを緩めて下さい。
 - 2) No.38：ストローク調整ボルトを回し、ストロークを調整して下さい。
 - 3) 調整が済みましたら、No.39：六角ナットを締め付けて下さい。

■線材変更によるNo.20：ツカミ部 (固定側) の調整方法

- (ツカミ部の位置が正しくセットされていないと、脱皮面が斜めになり傷が入りやすくなります。)
- ◎安全の為、必ずNo.66：バルブ付ニップルを OFF にして下さい。もしくは、エアー源を止めて下さい。
- 1) No.109：化粧ネジを緩め、No.90：安全カバーを取り外して下さい。
 - 2) 新しく脱皮する線材の脱皮済みの物を用意して下さい。
 - 3) No.96：ボルトを 2 本緩めて下さい。
 - 4) 2) で用意した線材を固定側の替刃に、線材の芯線をあてがった状態にして下さい。
 - 5) No.20：ツカミ部 (固定側) を線材の外皮に当て、No.96：ボルトを 2 本ともしっかりと締め付けて下さい。(図 2 参照)
 - 6) No.90：安全カバーを取付け、No.109：化粧ネジを締めて下さい。

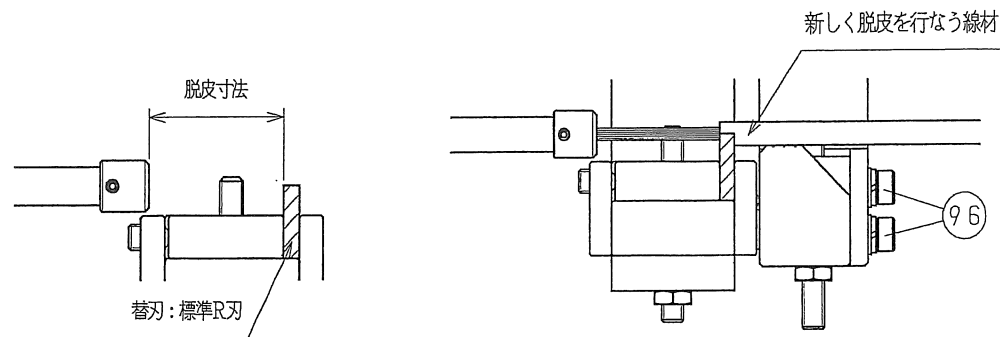


図1

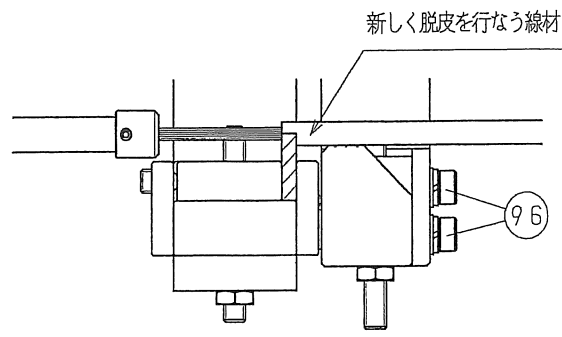


図2

■ツカミ部ツカミ幅の調整方法 (ツカミ幅が狭すぎて線材の外皮にキズが発生する場合に行なって下さい。)

- ◎安全の為、必ずNo.66：バルブ付ニップルを OFF にして下さい。もしくは、エアー源を止めて下さい。
- 1) No.109：化粧ネジを緩め、No.90：安全カバーを取り外して下さい。
 - 2) No.20：ツカミ (固定側) に付いているNo.51：六角ナットを緩めて下さい。
 - 3) No.50：ストッパーボルトを調整して下さい。
 - 4) ツカミ幅の調整が済みましたら、No.51：六角ナットを締め、しっかりと固定して下さい。
 - 5) No.90：安全カバーを取付け、No.109：化粧ネジを締めて下さい。

■替刃の交換方法

- ◎安全の為、必ずNo.66：バルブ付ニップルを OFF にして下さい。もしくは、エアー源を止めて下さい。
- 1) No.109：化粧ネジを緩め、No.90：安全カバーを取り外して下さい。
 - 2) No.55：セットボルトを緩め、替刃を取り出して下さい。
 - 3) 新しい替刃を図 3 の矢印の方向から見て、替刃の刻印が正しく読める様に取付けて下さい。
 - 4) 替刃が正しく取付けられたら、No.55：セットボルトをしっかりと締め付けて下さい。
 - 5) No.90：安全カバーを取付け、No.109：化粧ネジを締めて下さい。
 - 6) No.66：バルブ付ニップルを ON にし本機を動作させ、替刃の噛み合わせを確認して下さい。
 - 7) 替刃の噛み合わせが合っていれば替刃の交換は完了です。

■替刃の噛み合わせ調整方法 (図 4 の様にずれてしまった時)

※替刃の噛み合わせは本体出荷時に調整してあります。そのため、この作業は通常行なう必要はありません。

長期間ご使用頂くと、部品の磨耗などで替刃の噛み合わせが悪くなってくる事があります。

替刃の噛み合わせが悪くなりましたら、当社 室本鉄工株式会社まで修理依頼をお願い致します。

◎安全の為、必ずNo.66：バルブ付ニップルを OFF にして下さい。もしくは、エアー源を止めて下さい。

- 1) No.109：化粧ネジを緩め、No.90：安全カバーを取り外して下さい。
- 2) No.100：ボルトの 2 本 (図 5 の※印にて示唆している) を少しだけ緩めて下さい。
- 3) No.51：六角ナットを緩めて下さい。
- 4) 替刃の位置を調整して下さい。
- 5) 緩めた 2 本のNo.100：ボルトを仮止め状態で締めて下さい。
- 6) No.66：バルブ付ニップルを ON にし本機を動作させ、替刃の噛み合わせを確認して下さい。
- 7) 噛み合わせが合っているなら、No.100：ボルト、No.51：六角ナットをしっかりと締めして下さい。
- 8) No.90：安全カバーを取付け、No.109：化粧ネジを締めて下さい。

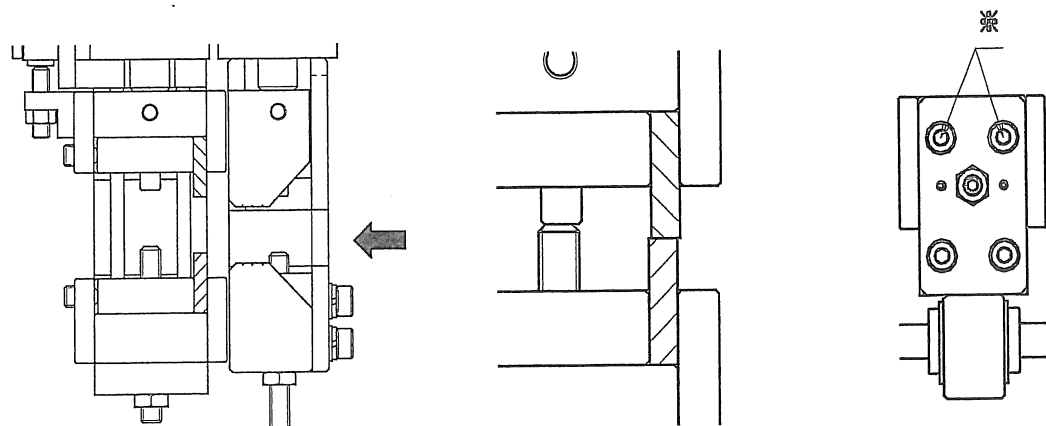


図3

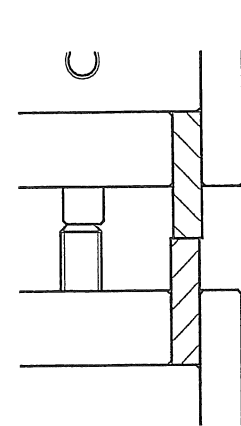


図4

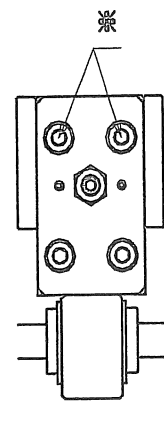


図5

■替刃間隔調整方法（電線脱皮時に芯線に傷が発生する時に、間隔を調整して頂くと傷が発生する事を防げます。）

◎安全の為、必ずNo.66：バルブ付ニップルを OFF にして下さい。もしくは、エア－源を止めて下さい。

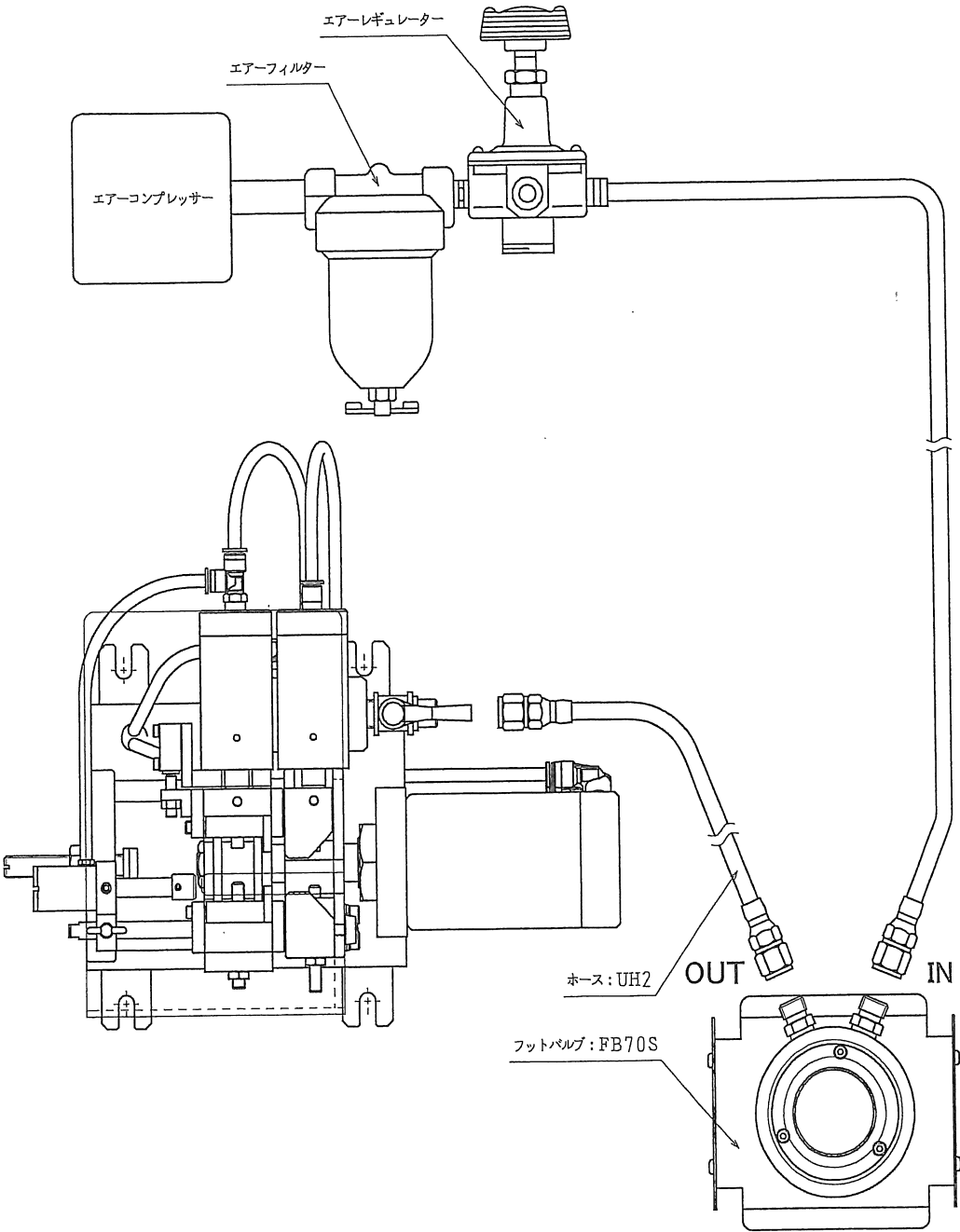
- 1) No.109：化粧ネジを緩め、No.90：安全カバーを取り外して下さい。
- 2) 替刃部側にあるNo.51：六角ナットを緩めて下さい。
- 3) No.50：ストッパーボルトを回して調整して下さい。
- 4) No.66：バルブ付ニップルを ON にし本機を作動させ、替刃の隙間を確認して下さい。
- 5) 隙間に問題が無ければ、No.51：六角ナットをしっかりと締めて下さい。
- 6) No.90：安全カバーを取付け、No.109：化粧ネジを締めて下さい。

製品の仕様

品 番	CST35
品 名	CABLE STRIPPER
全 長 [mm]	268.5
重 量 [kg]	7.4
高 さ [mm]	140.5
横 幅 [mm]	181
空 気 消 費 量 [cm³/回]	685.5
最大使用可能空気圧 [MPa]	0.6 (エア－供給口)
脱 皮 可 能 電 線 外 径 [mm]	約φ5
全体的な説明	
本機はエア－コンプレッサーから供給される圧縮空気を動力源とし、電線の外皮を剥離する事を目的とした卓上型作業工具です。	

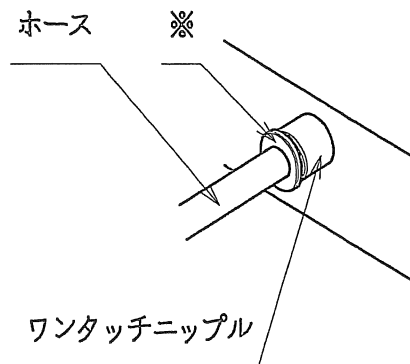
- ・替刃は別売となっております。別途お買い求め下さい。
- ・替刃は使用に応じて製作いたします。
- ・別作替刃製作時にはサンプル線が必要となります。

エア－供給方式



保守・点検

- ・本体及び替刃の外観に汚れ、ヒビ、割れ等が発生していない事を確認して下さい。
- ・本体の各連結部、ネジ・ナット類、本体とエア供給配管部に緩みやエア漏れがない事を確認して下さい。
緩みがある状態で使用されますと本体の動作不良や破損、作業者の怪我や作業者周辺の事故を引き起こす恐れがあります。また、エア漏れが発生しますと本機的能力不足を招き、正常な作業が出来なくなります。
- ・エアホースが劣化し、ヒビ割れや穴があいてエア漏れをしていないかを確認して下さい。
ヒビ割れ等が確認できた時はエアホースを交換して下さい。
交換方法はワンタッチニップルの下図で示します※印部分のリングを押えて下さい。
押える事によりホースのロックが外れますのでそのままホースを引き抜いて下さい。
新しいホースを取り付けるには、ワンタッチニップルにそのまま差し込んで下さい。



※修理のご依頼、お問い合わせはお買い求めの販売店、又は当社 室本鉄工株式会社までお願いします。
※不当な分解、改造を施された製品に関しては、保障の対象外とさせていただきます。
※不当な分解、改造によるトラブル、故障の責任は一切負いません。

 室本鉄工株式会社

●お問い合わせ先
大阪オフィス
TEL (072) 850-0091(代)・FAX (072) 850-00

ホームページ <http://www.muromoto.co.jp>
E-mail: mrt.info-j@muromoto.co.jp



ナイル

nile air tools